

ぬのびききゅうりょう す え き せいさん
布引丘陵の須恵器生産

所在地：東近江市芝原町



芝原南遺跡の調査（矢印部分が八日市壺焼谷遺跡）



遺跡の概要

布引運動公園陸上競技場（布引グリーンスタジアム）のある布引丘陵上の平坦面には、広い範囲で須恵器（古墳時代から奈良時代の焼き物）の散布が認められている芝原南遺跡（芝原町）が、布引丘陵の南斜面に八日市壺焼谷遺跡があります。

工事の前に実施した発掘調査では、7世紀後半から8世紀初頭にかけての須恵器窯跡2基と灰原（失敗品を捨てた場所）、竪穴建物跡と焼歪んだ土器を廃棄した土坑などが発見されました。

八日市壺焼谷遺跡の窯跡と竪穴建物跡

A 窯（右）全長 8.5m

B 窯（左）全長 9.4m

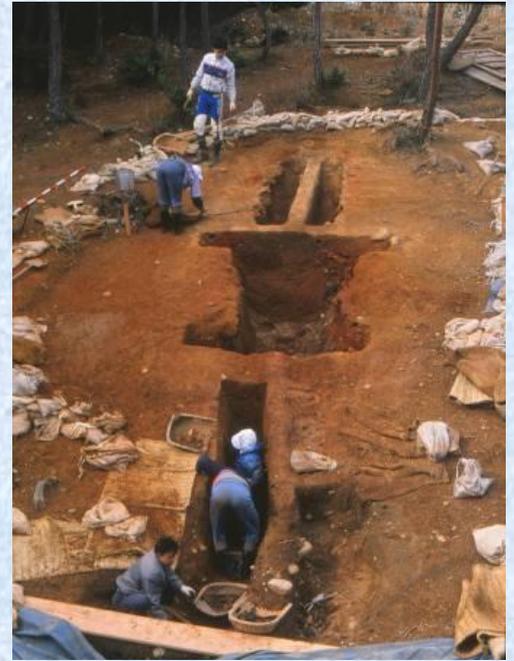
3万点以上の須恵器が出土しています。

須恵器窯の隣から竪穴建物が検出されており、工人が泊り込んで作業をしていたと考えられます。

くろまるにし

布引丘陵の南斜面には黒丸西遺跡（須恵器窯8基・芝原町）、黒丸北遺跡（須恵器窯10基・柴原南町）および南黒丸遺跡（須恵器窯6基・柴原南町）があり、東側の日野町へ続いていきます。これらの窯跡は奈良時代の終わりごろ（8世紀中葉）まで須恵器を焼き続けていました。

芝原南遺跡の発掘調査では、須恵器を作っていた工人が生活をしてきたと思われる^{やきひす} 竪穴建物跡3棟と^{はいき} 焼歪んだ土器を^{どうこう} 廃棄した土坑などが発見されました。



八日市壺焼谷遺跡作業風景



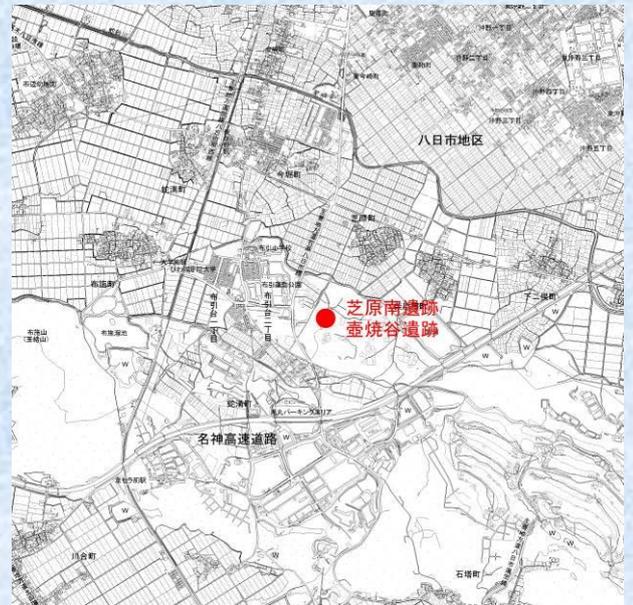
焼歪んだ須恵器を廃棄した土坑と竪穴建物跡

★八日市壺焼谷遺跡には・・・

八日市壺焼谷遺跡の須恵器窯跡は、布引運動公園の一角に遺跡ゾーンとして保存されています。



所在地：東近江市芝原町
アクセス：近江鉄道大学前から徒歩15分
名神高速道路八日市ICより車で10分



東近江市の遺跡シリーズ11「布引丘陵の須恵器生産」

編集・発行：東近江市教育委員会 埋蔵文化財センター

〒521-1225 滋賀県東近江市山路町 2225

TEL:0748-42-5011 IP:0505-801-5011 FAX:0748-42-5816

八日市壺焼谷遺跡出土須恵器 [平成23年3月発行]

このパンフレットは地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)を得て作成しました。